

職場に来れば、健康づくりができる環境を目指して

「安全第一」の造船業。その中でも「健康」に関心を持ってもらうために、仕事や日々の生活から「健康」を意識できる取り組みをされています！

企業データ

- ・住所 愛媛県西条市ひうち7-6
- ・業種 造船業
世界屈指の規模を誇る最新鋭工場！
- ・社員数（西条工場）約260名 令和3年8月時点

インタビュー対応（右から）
人事総務
グループ長 兼 勤労チーム長 平田さん
保健師 日野さん



1

コミュニケーションから個人と環境にアプローチ

普段から社員と顔を合わせた時に挨拶をし、元気がない場合は声をかけたり、健康診断後の受診状況について確認したりしながら、必要時面談をしています。

年に2回実施しているストレスチェックでは、高ストレス判定が出た社員と保健師が面談し、ストレス状況を把握しています。社員からは「こんな機会がないと自分からは言い出せなかった」という声もあり、気持ちに寄り添いながら話すことの大切さを感じています。

また、ストレスチェックの集団分析を行い、ストレス度が高い部署の社員と保健師が面談をしており、個人へのフォローだけでなく、職場内の問題にも目を向けて、働きかける環境調整をしています。



面談中の保健師日野さん(右)と社員(左)



構内で挨拶する様子

2



社内報

社内報で定期的に健康情報を発信

社内報は、3か月に1回、全社員に配布しており、その中の健康に関するページを保健師が担当しています。生活習慣の振り返りや健康づくりのきっかけになればと思います。毎回テーマを変え、作成しています。

今日から始める
健康づくり2021

3



目線に合わせて尿チャートを掲示

尿チャートで熱中症予防

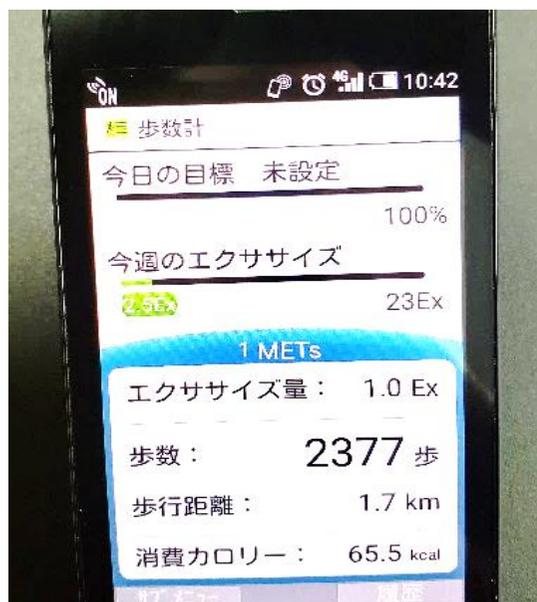
構内の約40か所のトイレ全てに尿チャートを掲示しています。尿の色から簡単に脱水状態を確認することができ、社員からは「トイレの時に意識するようになった」と反応がありました。当社は屋外で汗をかく作業が多いため、もともと社内の熱中症予防に対する意識は高いですが、日常の中に取り入れることで、より自然に習慣化できる意識が高まっていると感じています。

今日から始める
健康づくり2021

4

活動量を見える化

社員は歩数計機能のついた社内用携帯電話を常に持ち歩いています。健康相談時に、歩数計を見ながら「今日はよく歩いた」と話す人や「今日全然動いてない」と自覚している社員もいて、自分の活動量を把握する良いツールになっています。



社内用携帯電話の歩数表示

いい会社づくりに向けた取り組み

造船業は、安全第一であり、日々の健康管理がとても大切です。仕事の動線上で、社員が気軽にできる健康づくりへの働きかけや工夫を今後も考えていきたいです。

POINT

- ✓ ストレスチェックの活用
- ✓ 顔を合わせるコミュニケーション
- ✓ 健康づくりの情報発信
- ✓ 熱中症予防への取り組み
- ✓ 活動量を見える化

西条市保健師MEMO

日頃の挨拶、ストレスチェック、健診後など、機会を捉えてタイムリーなコミュニケーションを図っているからこそ、社員のちょっとした変化を見逃さず、支援につなげられているのだと感じました。

また、職場で健康づくりを意識できる工夫がたくさんあり、保健師さんの社員を思う熱い思いが伝わりました。今後の取り組みも楽しみです。



(取材：2021年8月)